

令和2年度
第2回

今金町地域交通協議会

(今金町地域公共交通確保維持改善協議会)

議案

(書面会議)

次 第

1、報告事項

報告第1号 デマンドバス利用状況について

2、付議事項

議案第1号 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価の実施について（地域内フィーダー系統）

今金町地域公共交通確保維持改善協議会 委員名簿

任期 委嘱の日～令和3年3月31日

No	役職	委員名	所属
1	会長	外 崎 秀 人	今金町長
2	副会長	辻 紀 英	今金町社会福祉協議会
3	監事	藤 川 治 喜	自治会町内会連合会
4	監事	加 藤 秀 明	今金町民生委員児童委員協議会
5	委員	經 亀 真 利	国土交通省北海道運輸局 函館運輸支局
6	委員	幅 口 一 路	北海道檜山振興局
7	委員	西 川 達 也	函館バス株式会社
8	委員	松 本 年 弘	有限会社東ハイヤー
9	委員	田 中 春 次	今金町老人クラブ連合会
10	委員	仁 木 幹 雄	田代連合自治会
11	委員	小 池 令 子	八束連合自治会
12	委員	鈴 木 一 雄	豊田連合自治会
13	委員	水 上 清 司	金原連合自治会
14	委員	大 岩 伸 一	函館地区交通運輸産業労働組合協議会

事務局

山 田 薫 鈴 木 正 之 植 村 亜 耶 木 元 希	町まちづくり推進課長 同課長補佐 同 係 同 係
--------------------------------------	-----------------------------------

庁舎内ワーキング委員会

保健福祉課・教育委員会事務局・国保病院

報告第1号 デマンドバス利用状況について

■八東・白石地区

(人)

	行き1便 スクール	行き2便	行き3便 上:八東白石 下:まちなか	行き合計	行き スクール 除く合計	帰り1便 上:八東白石 下:まちなか	帰り2便 上:スクール 下:デマンド	帰り3便 上:スクール 下:デマンド	帰り4便	帰り5便	帰り合計	帰り スクール 除く合計	行・帰 合計	行・帰 スクール 除く合計	内まちなか 利用者数
R元.10月	55	7	49 68	179	124	43 9	1 0	0 0	4	0	57	56	236	180	77
R元.11月	52	10	38 98	198	146	35 26	3 0	0 0	5	0	69	66	267	212	124
R元.12月	46	8	48 123	225	179	56 23	0 0	0 0	8	4	91	91	316	270	146
R2. 1月	18	12	47 102	179	161	40 25	0 0	1 0	18	0	84	83	263	244	127
R2. 2月	44	8	42 137	231	187	37 17	2 0	1 0	14	1	72	69	303	256	154
R2. 3月	0	7	24 98	129	129	27 12	0 1	0 0	1	0	41	41	170	170	110
R2. 4月	30	6	27 85	148	118	32 16	0 0	0 0	3	1	52	52	200	170	101
R2. 5月	8	10	21 83	122	114	8 10	10 0	0 0	2	0	30	20	152	134	93
R2. 6月	83	7	27 152	269	186	27 24	0 0	0 0	1	0	52	52	321	238	176
R2. 7月	73	5	26 110	214	141	27 19	0 0	1 1	3	2	53	52	267	193	129
R2. 8月	50	8	27 142	227	177	23 14	7 2	0 0	8	0	54	47	281	224	156
R2. 9月	58	2	36 121	217	159	32 9	0 0	1 0	9	0	51	50	268	209	130
合計	517	90	412 1,319	2,338	1,821	387 204	23 3	4 1	76	8	706	679	3,044	2,500	1,523

■金原・豊田地区

(人)

	行き1便 スクール	行き2便	行き3便	行き合計	行き スクール 除く合計	帰り1便	帰り2便 上:スクール 下:デマンド	帰り3便 上:スクール 下:デマンド	帰り4便	帰り合計	帰り スクール 除く合計	行・帰 合計	行・帰 スクール 除く合計
R元.10月	0	7	13	20	20	17	0 0	0 0	1	18	18	38	38
R元.11月	0	8	30	38	38	21	1 0	0 0	6	28	27	66	65
R元.12月	0	4	23	27	27	16	0 0	0 0	5	21	21	48	48
R2. 1月	0	6	19	25	25	18	0 0	0 5	0	23	23	48	48
R2. 2月	0	5	15	20	20	14	4 0	0 0	5	23	19	43	39
R2. 3月	0	3	9	12	12	13	0 0	0 0	2	15	15	27	27
R2. 4月	0	6	10	16	16	15	1 0	0 0	0	16	15	32	31
R2. 5月	0	2	18	20	20	13	4 0	0 0	0	17	13	37	33
R2. 6月	0	7	11	18	18	14	0 0	0 0	0	14	14	32	32
R2. 7月	0	6	20	26	26	26	0 0	0 0	1	27	27	53	53
R2. 8月	0	1	11	12	12	8	2 0	0 0	0	10	8	22	20
R2. 9月	0	2	16	18	18	15	0 0	0 0	0	15	15	33	33
合計	0	57	195	252	252	190	12 0	0 5	20	227	215	479	467

■田代・稲穂地区

(人)

	行き1便	行き2便	行き合計	帰り1便	帰り2便 (土曜日)	帰り3便 (土曜日)	帰り4便	帰り合計	行・帰 合計
R元.10月	6	41	47	30	0	0	11	41	88
R元.11月	4	26	30	19	0	0	7	26	56
R元.12月	7	38	45	33	0	0	6	39	84
R2. 1月	4	28	32	20	1	0	6	27	59
R2. 2月	4	32	36	22	0	0	5	27	63
R2. 3月	5	30	35	26	0	0	9	35	70
R2. 4月	2	30	32	18	0	0	11	29	61
R2. 5月	1	33	34	24	0	0	8	32	66
R2. 6月	4	31	35	26	0	0	4	30	65
R2. 7月	4	21	25	15	0	0	5	20	45
R2. 8月	3	18	21	16	0	0	6	22	43
R2. 9月	3	21	24	14	0	0	6	20	44
合計	47	349	396	263	1	0	84	348	744

【参考】

■前年度比(スクール除く)

	令和元年度 (H30.10月～R元.9月)			令和2年度 (R元.10月～R2.9月)			増減
	行き便	帰り便	合計	行き便	帰り便	合計	
八束・白石地区	1,105	779	1,884	1,821	679	2,500	616
金原・豊田地区	347	283	630	252	215	467	△ 163
日進地区	2	2	4	1	0	1	△ 3
田代・稲穂地区	478	428	906	396	348	744	△ 162
合計	1,932	1,492	3,424	2,470	1,242	3,712	288

■各地区人口

(人)

	R元. 9月末現在			R2. 9月末現在			増減	内65歳以上(R2.9月末)			高齢者率
	男	女	計	男	女	計		男	女	計	
八束・白石地区	129	137	266	129	130	259	△ 7	55	68	123	47%
金原・豊田地区	162	153	315	152	144	296	△ 19	78	80	158	53%
日進地区	11	9	20	11	6	17	△ 3	6	4	10	59%
田代・稲穂地区	106	122	228	104	117	221	△ 7	45	61	106	48%
合計	408	421	829	396	397	793	△ 36	184	213	397	50%

議案第1号 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価の実施について(地域内フィーダー系統)

別紙1

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 年 月 日

協議会名:今金町地域公共交通確保維持改善協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
有限会社東ハイヤー	予約バス「ルンるん号」 八東・白石地区 金原・豊田地区 日進地区 田代・稲穂地区	・広報紙面やチラシの配布等を行い、利用促進を図った。 ・市街地エリアでの乗車を継続して実施した。	A	計画通り事業は適切に実施された。	各路線で新型コロナウイルスの影響による利用減が見られるものの、昨年から実施している乗車可能エリアの拡大により全体の利用者数は増加し、目標を達成した。 目標:3,600人/年 実績:3,712人/年(103%)	・利用者への聞き取り等によりニーズを適切に把握し、ダイヤ設定の見直しなどを検討する。 ・広報紙面やチラシの配布等継続した情報発信を行い、利用促進を図る

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 年 月 日

協議会名:	今金町地域公共交通確保維持改善協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>今金町は北海道渡島半島の北部に位置し、南はユーラップ山系を挟んで八雲町と、北は狩場山系を介して島牧村と、東は低い山地を経て長万部町と、西はせたな町と接しており、四方が山岳丘陵に囲まれた内陸地である。面積は568.25km²、人口は5,080人(令和2年10月末現在住民基本台帳)。</p> <p>人口のうち約2割が75歳以上の高齢者で、その割合はさらに増加することが予想されており、現在の自家用車中心の地域交通のままでは今後日常生活において不便が生じる世帯が増加することが懸念される。</p> <p>このため、町内の交通不便地域の解消を図ることを目的として、地域間幹線系統(函館バス瀬棚線)に接続する地域内フィーダー系統のデマンドバスを運行し、患者輸送バスやスクールバスの運行も併せて見直しながら、地域の生活交通ネットワークの構築を進めているところである。</p>

今金町地域公共交通確保維持改善協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

今金町は人口の約2割が75歳以上の高齢者であり、その割合は更に増加することが予想されるため、現在の自家用車中心の地域交通のままでは今後日常生活において不便が生じる世帯が増加することが懸念される。

このため、町内の交通不便地域の解消を図ることを目的として、地域間幹線系統(函館バス瀬棚線)に接続する地域内フィーダー系統のデマンドバスを運行し、地域の生活交通ネットワークの構築を進めるところである。

生活交通確保維持改善計画の目標

平成29年度より利用実績が減少傾向であることから、平成28年度と同等以上の利用実績を目標とする。

予約バス「ルンるん号」全体の利用者数 3,600人

令和2年度事業概要

予約バス「ルンるん号」【八東・白石地区】【金原・豊田地区】【日進地区(補助対象義)】【田代・稲穂地区】

- ・運行形態:デマンド型フィーダー路線
- ・運行事業者:有限会社東ハイヤー
- ・運行日:平日、土曜日(日曜日・祝日は運休)
- ・運賃:1回(片道)200円

地域公共交通の現況

- ・函館バス株式会社(町内1路線)
～国鉄廃止に伴う代替幹線バス路線
- ・スクールバス
- ・患者輸送バス

協議会開催状況

- 令和元年12月19日 令和元年度第2回協議会を開催
 - ・地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価の実施について 等
- 令和2年3月26日 令和元年度第3回協議会を開催(書面会議)
 - ・次年度事業計画(案)について 等
- 令和2年6月5日 令和2年度第1回協議会を開催(書面会議)
 - ・地域内フィーダー系統確保維持計画について 等

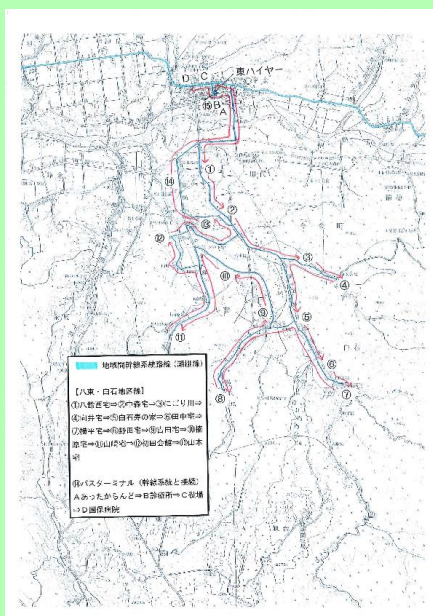
令和2年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

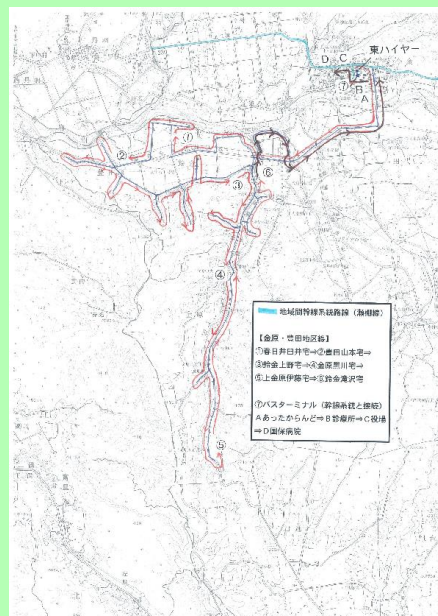
- ・フィーダー路線のエリア選択は、平成25年度実施の今金町地域交通サービス導入調査及び地理的事情に勘案し決定。
- ・前年度に実証調査運行を行い、最終的なダイヤを決定。
- ・地域住民説明会の開催、町広報紙による周知、運行地区全世帯への時刻表の配布、患者輸送バスに同乗し制度切り替えの説明等により、住民周知を行った。
- ・平成30年4月より、複数名又は団体による一括予約やファックスでの予約を可能とし、より利用しやすい受付体制を整えた。
- ・令和元年7月より、これまで下車のみであった市街地エリアでも乗車を可能とし、継続して運行を実施した。

2) 運行系統

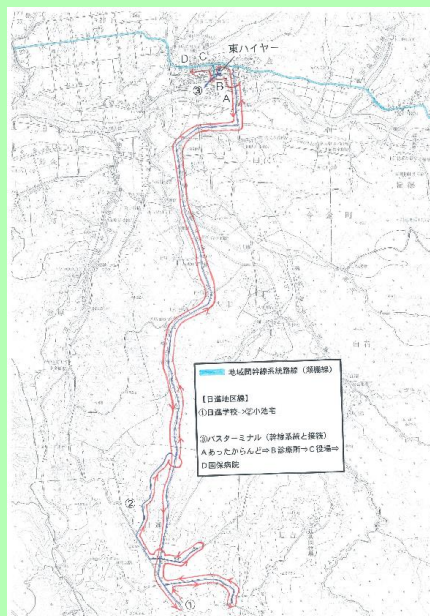
八東・白石地区



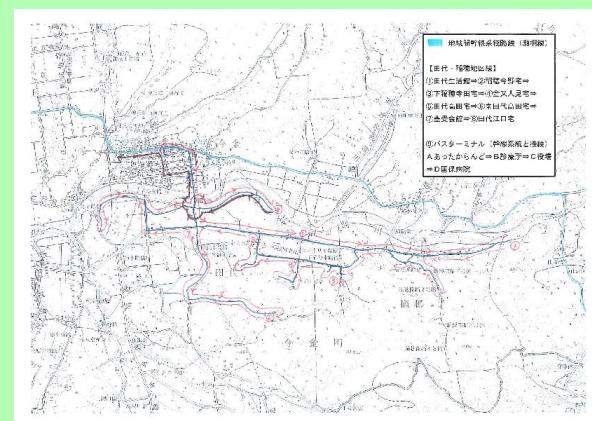
金原・豊田地区



日進地区



田代・稲穂地区



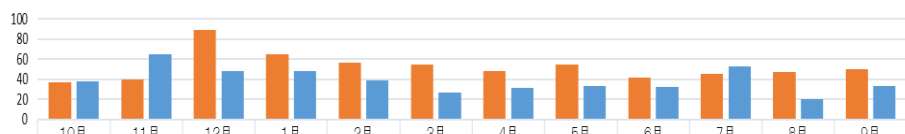
3) 利用実績

八束・白石地区



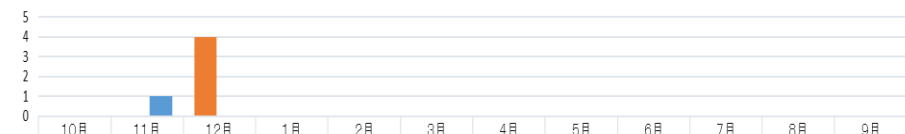
合計 ■ 令和元年度 1,884人 ■ 令和2年度 2,500人 ※堺市最終便(補助対象外)利用者8人を含む

金原・豊田地区



合計 ■ 令和元年度 630人 ■ 令和2年度 467人

日進地区(補助対象外)



合計 ■ 令和元年度 4人 ■ 令和2年度 1人

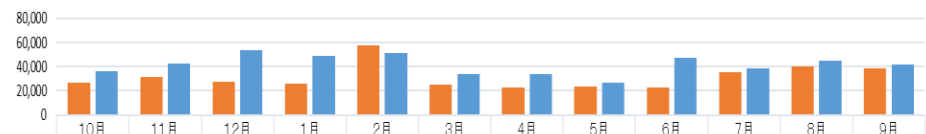
田代・稲穂地区



合計 ■ 令和元年度 906人 ■ 令和2年度 744人

4) 収入実績

八束・白石地区



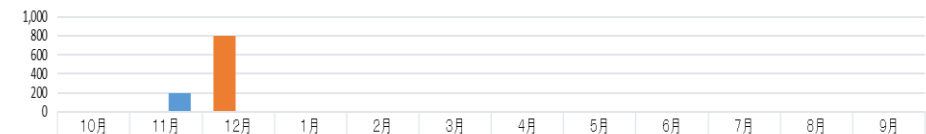
合計 ■ 令和元年度 376,800円 ■ 令和2年度 500,000円 ※堺市最終便(補助対象外)料金1,600円を含む

金原・豊田地区



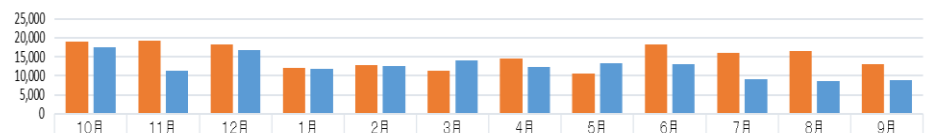
合計 ■ 令和元年度 126,000円 ■ 令和2年度 93,400円

日進地区(補助対象外)



合計 ■ 令和元年度 800円 ■ 令和2年度 200円

田代・稲穂地区



合計 ■ 令和元年度 181,200円 ■ 令和2年度 148,800円

5) 事業実施の適切性

計画通り事業は適切に実施された。

6) 目標・効果達成状況

各路線で新型コロナウイルスの影響による利用減が見られるものの、昨年から実施している乗車可能エリアの拡大により全体の利用者数は増加し、目標を達成した。

目標: 3,600人/年

実績: 3,712人/年(103%)

7) 事業の今後の改善点

- ・利用者への聞き取り等によりニーズを適切に把握し、ダイヤ設定の見直しなどを検討する。
- ・広報紙面やチラシの配布等継続した情報発信を行い、利用促進を図る

8) 地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果(案)

運輸局記載欄